

逗子市議会議員 長島有里の

市政 報告

発行：長島有里事務所
電話 046-890-0324
yuri_nagashima@yahoo.co.jp



長島 有里 39歳

逗子市議会議員 3期目 副議長
無所属
立教大学法学部卒
横浜市立大学大学院修了
会派：市政クラブ
NPO法人KANATAN副理事長
趣味：料理・読書・マラソン
大学生と小学生2児の母
<http://nagashimayuri.com>

財政危機 市民にツケを回さない！

“来年度の予算が7億円も足りない”



私たち議員がこう説明を受けたのは、9月のことでした。
主な原因は歳入の減少と高齢化による医療費などの支出が増えたためですが、ここ数年池子自然公園や療育センター、体験学習施設スマイルといったハコモノ整備が続いたことも財政難に陥った原因といえます。

市長からは大規模な事業見直し案が提示され約150事業が見直し、廃止されます。

今まで議員からそのありようが問われていた高齢者への入浴助成券、ピースメッセンジャー事業なども一律カットされる他、なかば聖域とされてきた商工会への補助金、流鏝馬、逗子海岸の花火大会などのイベントの事業費も見直しの対象とされています。

これまでの議員の指摘を受けて、事業見直しに着手することは評価したいのですが、財政マネジメントの失敗のツケを市民サービスの縮小、後退という形で市民が尻拭いをさせられるようなことはあってはなりません。

突然の話に、議員だけでなく、多くの市内の方やご関係者からも心配や不満の声が上がっています。批判するだけでなく、このような事態をいかに最小限の被害に食い止めるか。ピンチをチャンスに活かせるか。

しっかり皆様の代理人として提言をしてまいります。

電線類地中化で美しいまちづくり

池田通り商店街がなんだかすっきりと変わったことに気がついた人はいるでしょうか。



実は昨年10月末に電線類が地中化されました。

電線はホワイトノイズ《気づくまでは存在を意識しないが、いったん気になると意識にまとわりつく微細な騒音のようなもの》といわれています。

電線類の地中化は景観だけでなく防災上も急務です。阪神・淡路大震災のときに倒れた電柱・電線類が緊急車両の通行を妨げ、二次災害を拡大させてから、改善が叫ばれています。なかなか進まないのはコストの問題。

今回の池田通りは県道のため県がお金を負担していますが、その額は約4億2千万円もあります。長期的かつ計画的に、人通りの多い道路を中心に進めていくべきです。かつては電線地中化50年計画というものがあり役所前は地中化されましたが、今は完全にストップしている状況。私は以前から『なぎさ通り商店街の電線地中化』を進め、OKストアの交差点を改良し道路の拡幅をすべきと提案しています。さらなる電線類の地中化を提案していきます。

子どもの教育格差を是正するために

以前、社会福祉協議会の方からこんな話を聞きました。

「親が借りたお金を子どもが返しにくる。家のお金のことや生活の心配事で勉強をする余裕のない子どもがいます」と。子どもの貧困対策で重要なことは、

“**貧困の世代間連鎖にストップをかけること**、です。

そのため**学習権・進学保障は優先すべき施策**と考えます。

2年前から、逗子市は生活保護世帯の児童に市役所の閉庁後会議室を活用して、元教員の方がボランティアで勉強を教える事業を進めてきました。今年からは、さらに体験学習施設スマイルで地元の大学生とボランティアさんによる中学生への学習支援事業が始まりました。

集まった方の中には、進学校の元校長先生、学習塾の先生など、いずれも教育畑のプロばかり。

こうしたマッチングから逗子の未来を担う人材が育っていくことを期待しています。



ママ議員の実態は!?

月曜21時～フジテレビ篠原涼子さん主演のドラマ『**民衆の敵**』。ママでもある地方女性議員が主役とあって毎週楽しみに観ています。先日は週刊ザテレビジョンという雑誌にドラマと実際の議員の仕事の違いについて取材があり掲載していただきました。



Q.実際の議員のお仕事とは？

『議員は市民を上司とした“便利屋”のようなもので、ゴミや治安の問題から“電車の冷房が寒い”などの陳情も寄せられ、市民の声をいかに吸い上げるのが大事。議会は年80～100日で、兼業も多いですが、イベントや町内会に顔を出したりと多忙です。私は育児との両立があまりできてないので、番組内の智子の夫(田中圭)がうらやましい(苦笑)。ただ、**育児経験から病児保育の必要性や待機児童問題に当事者意識を持って取り組める強みがあります**』

※記事の一部引用(掲載は週刊ザテレビジョン47号11/5発売号)

市民のみなさんから寄せられたご要望



Q.特定健診をスマホで予約できたり、もっと受診しやすくしてほしいのですが・・・

A.現状では土曜日の健診は年1回、ネットでの予約もキャンセル待ちもできません。受診率は現状約30%であり、もっと多くの人に受けてもらうためにも改善が必要です。担当所管に改善要望しています。



ご意見、ご要望はこちらまで

Fax 046-890-0324

yuri_nagashima@yahoo.co.jp



必ず
拝読します!

【編集後記】
■民進党を離党しました。政党に所属することは一長一短ありますが、国会議員や他の地方議員とのつながりをもてたことは良かったと思います。■しかしながら、衆議院選挙の直前に所属していた政党の帰趨がよくわかりませんでした。■このため衆議院選挙の翌日に離党届を提出しました。■一地方議員としてこれからは何を考えたとき、政党には所属することをなく、地元での活動や市民活動支援に取り組みたいと考えました。■この間、NPO法人の副理事長として主に児童ホームの子どもたちの支援を継続してきました。このように活動も政党色のない方が活動しやすいというところがあります。■とりたてて何か私の主義主張が変わるわけでもなく、これからは市民主義、現場主義でこれらも市民活動としてゆきまします。今後ともどうぞよろしくお願いたします。